

狭山市のプライベートブランド 「ゆうき肥狭山」ができました

昨年4月に始まった生ごみリサイクル事業は、1年間に約1千600世帯が参加し、約70tの生ごみが肥料としてリサイクルされました。この生ごみリサイクルに参加するご家庭の輪は、現在2千世帯にまで広がっています。できた肥料は公募によって「ゆうき肥狭山」という名称に決まりました。応募していただいた皆さん、ありがとうございます。現在、販売に向けて準備を進めています。ご期待ください。

誕生！狭山市ブランド 「ゆうき肥狭山」

皆さんのご家庭から回収された生ごみは、市内の生ごみ処理施設に運ばれ、大型の生ごみ処理機で高速醗酵させて、パウダー状の一次処理物になります(3ページ上写真)。これをふるいにかけて異物を除去し、肥料会社で成分配合調整などの二次処理を行って、有機質肥料へと生まれ変わります。

昨年、この肥料の名前を公募したところ、大勢の皆さんからさまざまな応募をいただきました。その中で選考した結果、狭山市のプライベートブランドとして水野在住の橋本忠雄さんの「ゆうき肥狭山」に決まりました。



生ごみをリサイクルにまわすだけでなく、「ゆうき肥狭山」を利用することで、生ごみリサイクルの輪が結ばれます。家庭用の生ごみ処理機やコンポスターなどを利用すること

ができない家庭でも、生ごみをリサイクルできるのです。そして生ごみからできた肥料は、植物の栄養になる成分をバランスよく含ん

● ゆうき肥狭山・・・この方が名付け親です 橋本忠雄さん(水野在住)



私も生ごみリサイクルに参加している一人です。この名前は、「有機肥料」が語源ですが、平仮名にすることで柔らかさ、優しさを感じられるようにしました。そして私たちのかけがえのない財産である自然環境に優しく、土や植物の成長の肥やしとするとともに、私たちが成長していきたいという願いを込めました。わが家の生ごみが肥料に生まれ変わって帰ってくるなんて、ふしぎな感じがしますし、うれしくなります。早くガーデニングに使ってみたいです。

でいるので、ガーデニングでハー



ブなどの草花、木を育てたり、家庭菜園でトマト・きゅうりなどの野菜を作るのに最適です。「ゆうき肥狭山」

は、市内の小売店で販売する予定です。皆さんぜひご期待ください。

土を豊かにし、大地からの恵みは大地に還そう

現在焼却処理している、もやす「ごみ」の約半分が生ごみです。ですから、生ごみを家庭で分別してリサイクル事業にまわせれば、もやす「ごみ」が半分近くに減量できるこ

とになります。生ごみは、肥料の原料となる資源です。

大地からの恵みは燃やさず、大地に還してあげましょう。家庭菜園やガーデニングでも、有機農法を実践することで、土を肥やし、豊かにすることができます。

● 平成14年度実績値

平成14年度一年間にごみ集積所から回収した家庭のもやすごみは3万47tでした。そのうち、生ごみの量は1万3千761t、45.8%です。現在もやすごみとして出されている生ごみ1万3千761tがすべて資源化されると、5億7千796万2千円の経費が削減できます。

あなたも参加しませんか 生ごみリサイクル事業

補助はどうすれば受けられるの？

購入した生ごみバケツの中に入っている「生ごみ処理器設置費補助金交付申請書」に記入し、生ごみ資源リサイクル推進チームか公民館、出張所に提出してください。1世帯につき2個までで、1個あたり1千700円を補助します。

こういう物は入れちゃダメ！
タバコ、ラップ類、容器包装類、箸、竹串など

生ごみリサイクルに参加するには、専用バケツを購入していただきます。(専用バケツは、腐敗抑制効果のある抗酸化溶液があらかじめ配合されているので、生ごみを入れ続けても臭いが出にくいという特徴があります。購入には市から補助があります。専用バケツは次の5店舗で2千625円で販売しています。
販売店舗 市役所地下1階売店・みよしや Aコープ入間店(南入曽) さいたまコープ(狭山台) 孫八酒店(北入曽) ウッドベルP(柏原)

生ごみの回収場所を示すステーション設置届出書を提出してください。1世帯からでも参加できます。参加が5世帯未満の場合は、日頃利用しているごみ集積所に出してください。

家庭で分別した生ごみを専用バケツに入れます。「腐ったごみは入れない」「水切りはしっかり」が重要なポイントです。

回収日は次のとおりです。
月曜日...堀兼、奥富、柏原、水富、新狭山、狭山台地区
火曜日...入間川地区 金曜日...入間地区
年末年始、祝日も回収します

美しい地球環境を守るのは
私たち一人ひとりです

私たちの行動や生活を振り返ると、環境問題の重要性を認識している人は多いものの、実際に考え方を換え、行動している人は少ないように見受けられます。「実際に何をしたらよいか、分からない」という方も多いかもしれません。しかし、生ごみを分けてリサイクルすることは、ちょっとした心掛け

ごみの処理にはこんなに費用がかかります

狭山市では、1日に平均125tのごみを焼却処理しています。このごみを処理するために1t当たり約4万2千円の費用がかかります。つまり、1日に約525万円、なんと高級乗用車1台分もの費用が、毎日ごみを焼却したり、燃やした灰を処理するためにかかっているのです。

平成14年度処理実績値
ごみ焼却量45,863 t
1日あたりの焼却量
45,863 t ÷ 365日 = 125.65 t
125 t × 42,000円 = 5,250,000円

もやすぐみに出された丸ごとのオレンジもやすぐみとして出される生ごみには、この写真のような、食卓に上がらなかった、消費期限・賞味期限切れの食材が多く含まれています。「調理する食材のみを購入する」「食べられるだけの量を調理する」ことを実践するだけで、いわゆる「手付かず食品」を減らすことができます。ごみの減量が急務となっている現在、皆様のご協力が必要です。まずは家庭からごみを出さない暮らしを工夫しましょう。

でだれもができることです。環境問題は、だれかがやってくれる」という第三者的な考えでは、解決できません。市民・企業・行政が一体となって、それぞれの立場で考え、行動し、自分たちの住むこの地域、私たちの地球を、いつまでも美しく保ちましょう。

問合せ生ごみ資源リサイクル推進チームへ内線3631